

令和4年度第4回函館方面森警察署協議会議事概要

1 開催日時・場所

- ・ 令和5年2月22日（水）午後4時0分から午後5時30分までの間
- ・ 函館方面森警察署 会議室

2 出席者

(1) 協議会委員 6名（定員6名）

- ・ 会長 前本 幸政
- ・ 副会長 蛭沢 彰則
- ・ 委員 鈴木 耕一郎
- ・ 委員 川村 昌代
- ・ 委員 根本 あけみ
- ・ 委員 高橋 恵子

(2) 森警察署員 4名

- ・ 署長 上杉 光範
- ・ 副署長 板垣 孝謙
- ・ 刑生課長 天野 敦
- ・ 地域交通課長 小本 達也

3 協議会会長挨拶

4 警察署長挨拶

5 警察署長による警察活動の概況説明

署長から令和4年12月末の刑法犯認知・検挙状況、交通事故発生状況、警察相談受理状況等について説明があった。

6 協議事項

(1) 地域交通課長から、本協議会における協議事項である「交通事故抑止対策」に関して、パワーポイントを使用して説明があった。

(2) 質疑応答等

○ 協議事項について

- ・ 委員 鹿との衝突事故防止のために、スピードを出して車を走行しないことや対向車がいなければハイビームで走行することを教えて頂きました。
もし、走行中に鹿と遭遇した時のために対処法があれば教えて下さい。
- ・ 地域交通課長 鹿の出没を警告する看板や標識があれば、回避できるスピードで走行することや、対向車がないときに鹿と遭遇してしまったら緊急避難として対向車線に回避することもやむを得ないと思います。
- ・ 委員 事故を起こさないためには、スピードを出さないという事が大事だと思います。

278号線では、スピード出して走行する車が多く、正面衝突をしたり路

外に飛び出して電柱を倒すなど色んな事故があるので、指導取締りや何らかの対策に期待します。

- ・ 地域交通課長 国道に関しては、5号線と278号線は非常に交通量も多く、速度を出す車もいるため、警察署としても函館方面本部と連携して、重点的にパトロールと取締りを継続的に実施してまいります。

- ・ 委員 死亡事故で亡くなった方の中にはシートベルトをしていれば助かっていたという話を聞きましたが、その一方でまだまだシートベルトをしていない人もいるんだと思いました。
反射材の見え方についても肉眼より随分と見えるものだと改めて知ることができたので、夜間歩くことが多い人には是非勧めたいと思います。
鹿事故に関して、車に装着する鹿を遠ざける部品があること聞いたことがあるがどのようなものでしょうか。
- ・ 地域交通課長 シートベルト装着の呼びかけには是非ご協力お願いします。
鹿を遠ざける部品については、鹿笛のようなもので、カー用品店に売っています。

- ・ 委員 運転は、年齢の影響で行動が鈍ってきていたりするので、大きな事故に発展する前に免許を返納することが賢明だと思っています。
前回、旗の波運動に参加した際にグッズを配布したのですが、この様な取組は鹿部町だけでしょうか。
- ・ 地域交通課長 森町で開催した時も地元の野菜などを配付してますし、警察も森町と鹿部町でのイベントの際にはチラシやグッズを配布して、事故防止と啓発活動を実施しています。

- ・ 委員 雨の日になると各ドライバーは先頭を走りたがらなくなるなど、普段より慎重に運転していることを感じ、気を付けて運転しなければいけないと思いました。
そこで死亡事故に関して、助手席の人や後部座席の人がシートベルトをしていないため亡くなっている場合も死者数に含まれているのですか。
- ・ 地域交通課長 車に乗車中の死者数として統計を出しています。
助手席や後部座席に乗車している人がシートベルトを装着していなかったため亡くなっている事故も多いので、全座席シートベルトを装着するように注意喚起しています。

- ・ 委員 シートベルト違反について以前、聞いた話では、運転手と助手席以外は、シートベルトをしなくても違反にならない言っていました。全座席シートベルトをしないと違反になるのですか。
- ・ 地域交通課長 後部座席のシートベルト未装着は、現在、一般道では、指導対象となっていますが、警察としては交通事故防止のため全座席シートベルトを装着するように注意喚起を行っています。

- ・ 委員 森警察署での人身事故の14件のうち、森町と鹿部町の町民がどれくらいの割合を占めているのでしょうか。
- ・ 地域交通課長 当署管内で発生した、人身事故のうち森町と鹿部町の町民が何人いるのかという統計までは出していないので正確な数字は即答できませんが、当署管内の人身・物件事故では、地元の方の割合は多いようです。

- ・ 委員 高齢者の運転免許証を返納しないまま免許証を失効した場合、運転経歴証明書を発行してもらうことはできるのですか。

- ・ 地域交通課長 免許証の有効満了日を基準として、そこから5年以内であれば、必要な手続をしてもらえれば発行することができます。

7 反射材効果体験及び飲酒状態体験の実施

(1) 反射効果体験

協議会委員が反射材の効果が体験できるゴーグルを装着し、夜間、ヘッドライトに照らされた反射材の見え方がどのようなものかを体験した。

(2) 協議会委員が疑似飲酒状態が体験できるゴーグルを装着し、酒に酔った状態での視界がどのようなものかを体験した。

8 冬季術科訓練（柔道）の視察

道場において冬季術科訓練（柔道）の様子を視察した。

9 次回諮問事項

警察署の方から「地域安全対策」についてとの提案を受け、委員間で協議した結果、次回の諮問事項は「地域安全対策」に決定した。

10 次回開催予定

令和5年4月から6月ころで調整していく予定。